『一歩前へ』をスローガンに、7色の虹の力で支える「魅力ある学校づくり」

西之表市立
種子島中学校

種子島中学校は、生徒数328人、PTA戸数298戸、平成21年に6つの中学校を統合して開校し、西之表市唯一の中学校として、17年目を迎えます。現在は県内離島で最も生徒数の多い中学校となり、西之表市の教育理念「ひとりだちの教育」のもと、生徒たちは互いに協力しながら、特色ある教育活動に励んでいます。R3キャリア教育、R5学校保健、そして今年度は学校歯科保健で文部科学大臣賞を受賞するなど、「魅力ある学校づくり」に全力で取り組んでいます。

学校スローガン

生徒・保護者・地域・先生方の心を一つにするため『一歩前へ』を学校スローガンに設定し、いろいろな場面で使ってきました。ステッカーや横断幕を作成し、学校PRをしています。『一歩前へ』には、他人との比較ではなく、昨日の自分を超えていこう。勇気を出して踏み出したその一歩が大事！という意味が込められています。

特色ある7つの教育活動

本校の特色ある教育活動は7つあります。それぞれを活性化し、より輝きあるものにしようと、7色の虹のカラーを取り入れました。

赤は本気・勝負の色、オレンジは人気・仲良しの色、紫は感謝の色など、それぞれの色には意味があるので、生徒も楽しんで使っています。

7つの柱からいくつかの実践を紹介します。

Ⅰ	生徒指導【赤】	本気力～勝負色、勇気をエネルギーにするステップ
Ⅱ	生徒会・部活【橙】	行動力～人気色、社交能力をつけるステップ
Ⅲ	学力向上【黄】	自信力～自己肯定感・意欲Up、個を確立するステップ
Ⅳ	保健・歯科指導【緑】	調和力～癒し、人を思いやるステップ
Ⅴ	キャリア教育【青】	理想力～冷静、集中力Up、夢を語るステップ
Ⅵ	特別支援教育【紺】	直感力～勝ち色、野生の勘を磨くステップ
Ⅶ	開かれた学校づくり【紫】	使命力～感謝するステップ

Ⅱ：オレンジ　生徒会・部活動の取組

生徒会活動が先輩からの伝統を受け継ぎ、活発に行われています。校則の見直しを行ったり、今年は臨時生徒総会を開き、より現状に合ったものをと組織を再編しました。更に今後の活動が期待されます。先日の体育大会でも実行委員会、応援団が中心となり、生徒主体の素晴らしい運営ができ、閉会式後は大きな感動に包まれました。行事で一回りも二回りも成長できることも本校の特色です。

また部活動も盛んで、この夏は野球部と柔道部が九州大会に出場し、個人では柔道部の3人が全国大会に出場しました。地域行事にも積極的に参加し、全部活動で心と技術のバランスよい成長を目指しています。

九州大会に出場する野球部

九州・全国大会に出場する柔道部

生徒会活動

Ⅲ：黄色　学力向上の取組

7つの柱の中で本校の課題とされているのが学力向上です。日々の授業の取組や家庭学習の充実を図りたいと、今年度は「学習者主体の授業」実現プロジェクトの実践校区となり、9月18日に公開授業を行い、全職員で研修を深めました。小学校からも多くの参加があり、小中連携を図ることができました。先生方の本気度が伝わる充実した時間となりました。生徒会でも新しく学力向上委員会を立ち上げ、家庭学習への取組を強化しようと動き出しています。

Ⅳ：緑　保健・歯科指導の取組

保健指導では特に歯科指導に力を入れており、生徒会保体部が中心となり、歯のキャラクター「ハ～ミ～」を活用し、毎月8日を「歯っぴーDay」としてあいさつ運動での呼びかけや給食後に歯みがきソングを流して、全校生徒で一斉に歯みがきを念入りに行ったり、定期的に保体部新聞を発行したりしています。今年度は全日本学校歯科保健優良校表彰で「優秀賞（文部科学大臣賞）」を受賞することができました。

歯科指導「歯っぴーDay」

Ⅶ：紫　開かれた学校づくりの取組

「種子中式ウェルビーイング」で風通しのよい学校づくりに取り組んでいます。学校便り・全校通信（校長便り）などの諸通信・HPやブログ・安心安全メール・新聞や広報誌への掲載・校内の設営など、様々な情報発信を行っています。

PTA活動もとても盛んで、広報部が作成するPTA新聞「よろ～て」は県PTA広報紙コンクールにおいて、R2・3年は最優秀賞、R4・5・6年は優秀賞を受賞しました。また、一学期に行われた親睦ミニバレー大会では週末の夜にもかかわらず、約140人が市民体育館に集まり、クラス対抗で親睦を深め、大いに盛り上がりました。これからも「チーム種子中」で学校・保護者・地域の繋がりを深め、学校応援団を増やしていきたいと思います。

保護者作成 応援幕

PTA親睦ミニバレー大会

「子どもの人権プロジェクト」推進校として

今年度は「子どもの人権プロジェクト」にも取り組みます。全教育活動の土台となる人権教育であり、本校では学年・学級のスタートにおいて、担任は子供たちに「自分を語る→自分の思いや願いを語る」など、「人権同和教育を基盤にした学校づくり」を大切にしています。今回は県教育庁人権同和教育課の津曲指導主事に年3回ご来校いただき、「一人一人を大切にする」をテーマに、2学期後半に講話・授業・研修等を実施します。先生方、生徒、保護者にとって貴重な学びの機会となるのでとても楽しみです。

紹介できなかった他の柱についてもそれぞれが特色を出した実践をしています。7つの柱がバランスよく、そのカラーを発揮することで、本校の「魅力ある学校づくり」を支えています。

種子島を愛し、「2050年の種子島について、自ら考え、行動することができる」生徒の育成に向けて、PTA・地域と一体となり、これからも『一歩前へ』と歩んでいきたいと思います。

（校長　吉松　孝展）